

三愛 view

発行所：三船病院 相談室
 創刊日：2003年8月15日
 〒763-0073
 香川県丸亀市柞原町366
 Tel 0877-23-2341
 Fax 0877-23-2344

三船病院の防災活動について

三船病院 事務長 北村 直幹

香川県は温暖な気候と災害が少ないということで大変住みやすい地域です。そうしたことから「防災」という用語に対する認識は非常に低く感じます。9月1日は防災の日です。せめて年に一度は災害に対する備えについて見つめ直してみてもどうでしょうか。

災害には台風や地震などの自然現象に起因する自然災害（天災）と火災などの人為的な原因による事故や事件（人災）があります。どちらの災害もいつ発生するか分からないことから常日頃から準備しておくことが大切ですが、そういった感覚があまりないのが現状ではないでしょうか。

今年4月、熊本県と大分県を中心に大規模な地震が立て続けに発生しました。テレビ等のメディアで被害の状況が映し出されていましたが、その放送中にも突然余震が襲ってきており、人々は突然のことで何も出来ず、ただただ地震がおさまるのを待つしかないといった様子でした。私を含め大規模災害を実際に体験した人は数少ないと思いますが、同じ状況が皆さんの身の周りで起こったらどのように行動しますか？今私たちは近い将来発生が懸念される南海地震への対策を迫られています。香川県の防災拠点における耐震化率は全国平均並みですが、こと病院等の診療施設の耐震化状況は立ち遅れており、その対応は急務となっています。

当院では、耐震化対策の一環として中央館A及び北館の建替工事に着手しました。これらの棟は現行の新耐震基準が適用された昭和56年以前の昭和30～40年代に建てられた建物で、経年による劣化もあり地震発生時には危険を伴うことから建て替えることとなりました。まずは来年の秋頃の完成を目指し中央館Aの跡地に三階建ての新棟の建築工事に取掛かかります。その後引き続き北館についても建て替え予定となっています。このようなハート面の整備もさることながらソフト面（避難訓練や防災マニュアルの作成等）の整備はさらに重要なことです。何故なら災害はいつでもどのような規模でどんな種類の災害が発生するか誰にも予想が出来ないからです。例えば夜中に突然大地震が発生したとします。病院は夜勤体制で職員の配置は少なく、また周囲で停電が発生すれば暗闇の中避

難しなければなりません。また、職員自身の罹災の可能性もあり、病院運営や救援の拠点としての活動が出来るかどうか分かりません。そういった最悪の状況でいかに早く患者様を安全な避難場所に誘導し、活動再開出来る体制を取れるかは日頃の訓練やマニュアルの周知等がしっかり出来ていれば咄嗟にどういった行動を取ればならないかの判断が出来るのです。

当院では消防計画及び災害対策計画を策定し、これらに沿って毎年2回防災訓練を実施しています。訓練では消防署への通報、館内アナウンス、初期消火、避難誘導及び避難経路の確認、避難者の点呼確認、状況報告、消火器操作及び発電機の起動等を実施しています。また防災設備の保守点検も合わせて実施しています。職員、患者様共に訓練ではスムーズに行動出来ていますが、昼間の冷静な状況下でのものなので、あくまで想定範囲内での行動です。ですが、一旦災害が発生するとどのような想定外のことが起こるか分かりません。そういった状況でも臨機応変に行動出来るよう訓練の時にしっかりイメージしてほしいと思います。

昔から日本の国土は幾度となく大きな地震や台風に見舞われており、言葉としてはおかしいですが災害と共存して行かなければなりません。災害発生時には病院という看板を掲げている為、我々病院関係者だけでなく近隣の地域住民の方々も当院を頼って来る可能性もあります。突然最悪の状況が訪れてもしっかり対応し病院活動が継続出来るよう今後も災害対策をしっかりと進めていきたいと考えています。





口腔ケアについて

三船病院 歯科医師 岩田 修一

歯科では、う蝕や歯周病等への一般的な治療に加えて、入院患者様への口腔ケアに力を入れております。入院患者様の中には、精神的・身体的状態が悪く自ら口腔を清潔に保つことができない方がたくさんおられます。口腔内に汚れ（プラーク）が溜まると、その中で細菌が繁殖し、その汚れや細菌を誤嚥することによって生じる誤嚥性肺炎の原因となります。また、プラーク中の細菌が原因で起こる歯周病が悪化すると、糖尿病・心臓疾患・骨粗しょう症も悪化しやすくなります。歯がない方でも、口腔内の乾燥や出血、痰や廃用物のこびりつき等、歯がある方以上に口腔ケアが必要な患者様もおられます。う蝕や歯周病予防の為に口腔ケアは重要ですが、全身の状態改善の一助になる口腔ケアは更に重要と考え、入院患者様の口腔ケアを積極的に行っております。歯科診療室に訪れることが難しい患者様に対しては、歯科医師1名、歯科衛生士2名が各病棟（福寿荘）に出向き口腔ケアを行っています。2週間に1回の間隔で口腔ケアを行っていますが、口腔の状態が悪い場合にはそれより短い間隔で行っていく必要があります。しかし診療室での通常の診療もあるため、歯科スタッフによる頻回の口腔ケアは困難です。そこで、病棟看護師

との連携の必要性を強く感じております。現在、看護部による口腔ケア委員会が設置され、病棟での看護師による口腔ケアが軌道に乗ってきたところです。病棟で毎日口腔ケアができる環境となり、入院患者様の生活の質が向上したと思います。今後も看護部との連携を深め、患者様の口腔内がより健康となり、全身の健康に寄与できたらよいと思います。

口腔の二大疾患であるう蝕と歯周病の原因は、プラーク内の細菌です。そのプラークは糖質を原料として作られ、プラーク内の細菌は糖質を餌としてう蝕や歯周病を発症、悪化させます。歯磨きにより、プラークを完全に除去できればう蝕と歯周病の原因は無くなりますが、それがなかなか困難です。そこで、最近では歯磨きで原因を取ることで、糖質を少しでも摂取しないことによりプラーク自体ができないことが重要なのではないかと考えております。患者様がう蝕や歯周病にかからない情報をわかりやすく説明していければいいと思います。

従来からの診療室で行う歯科治療だけでなく、積極的に病棟にも出向いておりますので、お口に関して疑問な事がありましたら、お気軽にお尋ね下さい。

三船病院医師からのメッセージ・・・



「アイ・メッセージ」

三船病院 医師 植田 友佳子

『智に働けば角が立つ。情に棹せば流される。意地を通せば窮屈だ。とかく人の世は住みにくい。』

この有名な文で始まる『草枕』を夏目漱石が発表したのは今から110年前のことです。しかしどうでしょう、今を生きる私たちも時折同じような感覚にさらされるのではないのでしょうか。人の中で人が生きるというのは、いつの世も何かと難しいことのようにです。

という訳で今回は、この世知辛い世の中で生きていくにあたっての、コミュニケーションのコツのひとつについてお話ししてみようかと思います。

人はそれぞれ他人には分からない事情があるもの。そんな事情知らない誰かに、「あなたってよね」と何かを決めつけられたら誰だってイラッとしますよね。このような言い方をする事で私たちは知らず知らずのうちに相手を不愉快にさせて、トラブルの元を作っている場合があります。

ですが、例えば「あなたって無神経よね」ではなく「あなたにそんな風に言われると、私は悲しい」というように、自分を主語にしてみたらどうでしょうか。自分の気持ちについて語っているので、相手について決めつける言い方にはなっていませんね。相手を不愉快にしにくいように、自分の気持ちを伝えられる表現になっています。自分を主語にするこのような表現をアイ（私）・メッセージと言います。

余計な角を立てにくいこのアイ・メッセージ、お勧めですよ。ぜひ試してみてください。



三愛会 トピックス

三船病院夏祭り

8月6日(土)、毎年恒例の三船病院夏祭りが開催されました。今年もたくさんの出店が並び、患者様やご家族、地域住民の方など多くの方々に参加していただくことが出来ました。ゲスト演奏の和太鼓やよさこいの演舞は華々しく見ごたえのある舞台ばかりで、最後に上げられた大輪の花火も夏の夜空を美しく彩りました。



第33回家族教室

7月28日(木)第33回家族教室がありました。今回の講師は当院医師の鴨居鈴委子先生で、認知症の基本的な症状やその対応の仕方について等の勉強会を開催しました。沢山のご家族に出席していただき、様々なご意見、ご感想を伺うことができました。お忙しいところお越し下さりありがとうございました。



三船病院 委員会活動紹介

栄養管理委員会

委員長 管理栄養士 岡 浩実

栄養管理委員会は、毎月第2水曜日に定例会を開催し、栄養指導件数、病棟単位での残飯調査の結果や管理栄養士による食事配膳指導の結果、食品衛生に関する事項等の報告・検討を行います。また年2回(4月と10月)実施している嗜好調査の結果も報告しています。嗜好調査では毎回調査内容を少しずつ変更し、管理栄養士が患者様に直接聞き取り調査をしています。最近では病棟の意見箱にも食事に関する要望等が多くなりました。ご意見に対してはその都度検討し、入院中の食生活がより豊かなものとなるよう出来る限り対応しています。

栄養指導に関しては、平成28年度の診療報酬改訂により、栄養指導加算対象の拡大(がん、低栄養、摂食嚥下の追加)と指導料の見直し(現行130点から初回は260点、2回目以降は200点)が行われました。今後も指導件数を増加し、指導を継続していけるよう努力していきます。

委員会を通して、変化していく栄養管理、衛生管理についての情報を発信していくと共に、食事を楽しみにされている患者様に安全でおいしい食事を提供し、適切な栄養管理ができるよう活動を続けていきます。



委員会

教育委員会(第1水曜日)

個人情報保護委員会(第1水曜日)

情報システム委員会(第1水曜日)

・クニカハ委員会(第1水曜日)

地域生活支援委員会(第1水曜日)

行動制限最小化委員会(第1金曜日)

人権委員会(第1金曜日)

医療安全管理委員会(第2水曜日)

衛生委員会(第2水曜日)

業務改善委員会(第2水曜日)

診療録管理委員会(第2金曜日)

薬事審議委員会(第2金曜日)

院内感染対策委員会(第3金曜日)

栄養管理委員会(第2水曜日)

褥瘡予防対策委員会(第2水曜日)

患者サービス向上委員会(第2水曜日)

病院機能評価委員会(水曜日)

倫理委員会(年1回)

医療ガス安全管理委員会(年1回)

予算管理委員会(年1回)

接遇管理委員会(年2回)

診療情報提供委員会(随時)



【介護老人保健施設 福寿荘】

「居宅サービスにおけるリハビリテーションについて」

作業療法士 十川 恵理

当施設で行っている居宅サービスを簡単に紹介させていただきます。当施設では通所リハビリ 予防通所リハビリ 短期入所療養介護、予防短期入所療養介護を行っています。

高齢になると体の不調により、これまで当たり前に出ていたことが難しくなります。出来る限り心身機能を維持 向上し、日常生活動作を維持することで、自宅での生活を長く続けていくことがリハビリテーションの大きな目標の一つとなります。

居宅サービスでは、ケアマネジャーが作成する居宅サービス計画書を元にその人に合ったサービスを提供していきます。リハビリ訓練は具体的に起立 歩行訓練、筋力訓練、関節可動域訓練等をはじめ、パズルや計算課題など多岐に渡ります。また送迎時や担当者会を通して、家族や関係機関から本人の在宅生活状況を確認しています。そうした情報も参考に、それぞれの利用者様に応じて在宅生活に必要な能力維持 向上のためリハビリテーションプログラムを考案し、必要であれば変更していきます。併せて身体の痛みに対しては温熱療法も実施しています。

利用者様の充実した在宅生活を目指し、今後も皆さんのリハビリをさせていただきますと考えています。



【三愛会コミュニティセンター】

障害者就業 生活支援センター <ばら>

就業支援ワーカー 山階 誠子

障害者就業 生活支援センター <ばら>では、一般企業で働きたい障害のある方の就労支援と生活支援を行っています。相談に来られる方の多くは、仕事が続かず離職を繰り返していたり、1人での就職活動や仕事継続に不安を感じています。就職をゴールとするのではなく、就労生活を長く継続することを目標としているので、生活面も含めた職業準備が大事だと考えています。そのために面接だけでなく、法人内のワークサポートセンターさんあい、みなみでの作業アセスメント、企業での職場体験など様々な場面を通して得意 不得意を整理し、課題を振り返り対処方法を一緒に考えます。その中で、福祉サービスを利用して職業準備を整える必要のある人も多く、すぐに働きたい本人の気持ちとどう向き合っていくか難しさを感じています。近年くばらでは中讃圏域のB型事業所との連携が増えていますが、就労移行支援事業所とのやりとりは少ないのが課題です。働きやすい地域づくりのためにも地域の福祉サービス事業所との情報共有、連携の強化に取り組みたいと思います。

最近では企業から初めて障害のある方の雇用を検討したいとの相談が増加しています。職場訪問した時に、障害特性や本人にあった業務内容について相談されることもあります。本人だけでなく企業側とも相談しやすい関係作りや双方の困り感にも気付き対応できるように意識して職場訪問を継続していきたいと思ひます。



三船病院からのお知らせ

【行事予定】

クリスマス会
日時：12月
場所：三船会館
内容：バザー
ゲーム等



編集後記

日増しに秋の深まりを感じる今日このごろ、皆さまいかがお過ごしでしょうか。今年は大規模の地震や水害など、全国各地で大きな被害が出たことで、防災システムや自分の防災意識についても考えさせられる機会が多くなりました。1面でもふれましたように当院でも災害対策をしっかりと進め、意識を高く保ち、突然の災害時にも地域にある一医療機関としての役割を果たせるよう取り組んでいきたいと思ひます。
(三船病院相談室 PSW)